

あなたの検診、受けっ放しになっていませんか？

～精密検査を受けましょう～



比和支所地域振興室 専門員
塚本 麻里

市では、「生活習慣病健康診査」「人間ドック」を実施し、年に1回自分の健康状態を確認できる機会を設けています。現在日本では、死亡原因の第1位は「悪性新生物」、いわゆるがんで、3人に1人はがんにかかるといわれています。

庄原市の「がん検診受診率(図1)」、「がん検診精密検査受診率(図2)」を見ると分かるように、それぞれ受診率は増えていますが、目標値にはほとんどが届いていない状況です。また、検診で「精密検査が必要」と言われた方の受診率は、乳がんを除いてはいずれも目標値に達していません。たとえ検診の受診率が上がったとしても、必要な精密検査を受けないとがんの発見や治療に至らず、重症化する恐れがあります。

せっかく検診を受けたのに、精密検査が必要となっても検査に行かないのはなぜでしょう。もしかしたら、「何か悪いものが見つかったら怖い…」と考えたり、「自覚症状もないし、大丈夫だろう」と自己判断したりしているのかもしれない。

ここで、実際に伺った声を紹介します。

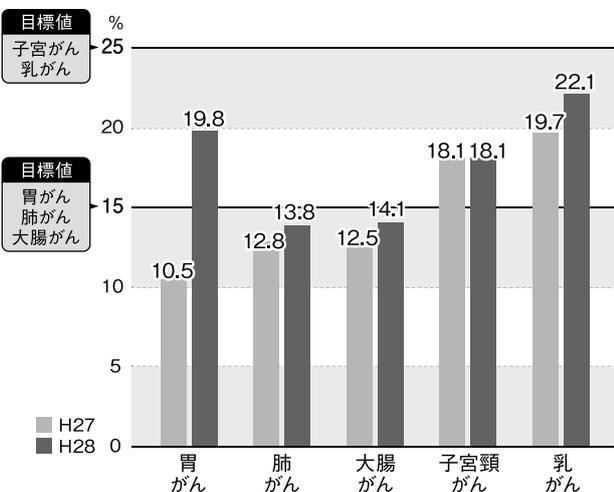
精密検査の通知をもらって、行こうか行くまいか迷っていたAさん。相談を受けた際に精密検査の必要性をお伝えした所、早速病院に行き、精密検査を受けました。その後、結果を伝えに来ていただきました。「最初はどうかと思ったけど、検査に行って良かった。診てもらって大丈夫と言われ、安心しました。行って良かったです」と。

検診で見つかるがんは、転移のないものが多く、早めに発見できれば、治療も軽くて済むことが多いといわれています。早期がんは自覚症状がないため、年に1回は検診を受けて、早期発見、早期治療することで、体や医療費の負担の軽減につながります。

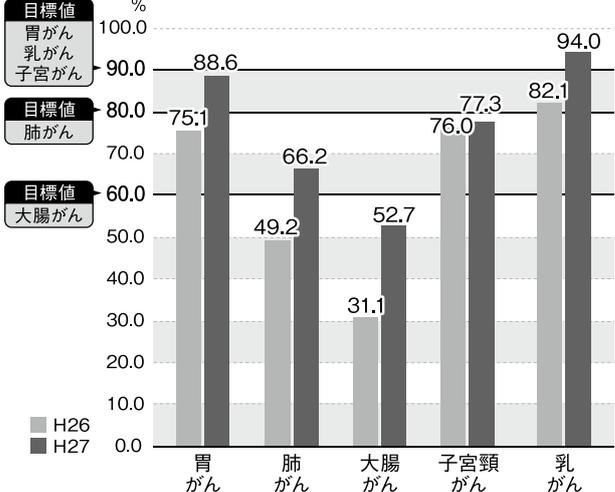


受けっ放しの検診でなく、最後まできちんと受けましょう。

【図1】 庄原市のがん検診受診率



【図2】 がん検診精密検査受診率



今月の「健康標語」入選作品
(健康標語は高血圧予防と糖尿病予防のための標語です)

優秀賞 「健康は きそくたしい リズムから」 居原 咲来